

鹿嶋市「大野中学校区」架け橋カリキュラム

R8.2.27現在

【共通の視点】として 考えられる項目例		5歳児												1学年													
		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月		
育てたい子どもの姿		チャレンジ！！一歩をふみ出そう～自分も友達も～																									
育みたい資質・能力		知識・技能の基礎 (遊びや生活の中で、豊かな体験を通して、 何を感じたり、何が分かったり、何が できるようになったりするかの) 思考力・判断力・表現力の基礎 (遊びや生活の中で、気付いたこと、できる ようになったことなども使いながら、どう 考えたり、試したり、工夫したり、 表現したりするか) 遊びを通しての 総合的な指導 学びに向かう力・人間性等 (心情・意欲・態度が育つ中で、 いかにによりよい生活を営むか) 方向目標 幼児期の終わりまでに 育ってほしい姿 ○健康な心と体 ○自立 ○協同性 ○道徳性・規範意識の芽生え ○社会生活との関わり ○思考力の芽生え ○自然との関わり・生命尊重 ○数量や図形・標識や文字 などへの関心・感覚 ○言葉による伝え合い ○豊かな感性と表現 続けて 育んでいく 学びに向かう力・人間性等 (どのように社会・世界と関わり、 によりよい人生を送るか) 「確かな学力」 「豊かな心」を総 合的にとらえて構 造化 思考力・判断力・表現力等 (理解していること・できてい ることをどう使うか)																									
遊びや学びの プロセスで 大切にしたいこと (写真の下【 】 それぞれの園や学校で展 開される遊び・活動例)		友達との関わり 体験する 身近な人との関わり やってみたい 気持ちを通わせる喜び 試してみる 考える力 できるようになりたい 気付きを発見、学び 楽しみながら考える 集中力													コミュニケーション力 (ゆずり合う、折り合いをつける、 受け入れる、伝え合う) どうやったら楽しくなるか 工夫する 試す 思いやり 粘り強さ (たおさずに成功させたい)												
指導上の 配慮事項	環境の 構成	・ 見守る。 ・ 子ども達の関わりを見届ける。 ・ 継続できる環境づくり。													・ 成功した子を認めながら、互いに刺激をし合えるようにする。 ・ 子ども同士で解決できるように助言する。 ・ 「やってみたい」と思えるような声掛けを工夫する。												
	先生の 関わり	・ お手本を示して意欲を高める。 ・ 学びにつながる働きかけ。													・ 言葉掛けの工夫。 ・ 安全を考慮する。												
交流・ 連携計画	子ども同士	・ 小学校の運動会予行練習参観 ・ ジャガイモ掘りに1年生を招待。													・ 小学校生活について聞かせてもらう。 ・ 秋まつり ・ 市バスで園訪問 ・ お楽しみ会												
	先生同士	・ 授業参観 ・ 情報交換会													・ 小学校生活（1日の流れ）の紹介（スライド活用）												
家庭との 連携	家庭教育の 視点 及び 保護者との 連携ツール	・ マナーアップカード ・ 生活習慣チェックカード ・ 保護者向け講演会													・ 食に関する嗜好調査 ・ クラス懇談会 ・ 保護者会 ・ 入学説明会で「目指す姿」を伝える。 ・ 学校だより ・ ホームページ ・ タブレットクラスルーム ・ 連絡帳												

【家庭教育の視点】

早寝早起き朝ごはんなどの、生活リズムを身に付けましょう。

通学路をお子さんと一緒に歩いて、距離感や危険な場所などを確認しましょう。

家族で食事を楽しみ、食の大切さを伝えましょう。

お手本を示し、あいさつや返事の習慣をつけさせましょう。

自分のことは自分でできるように、進んで見守りましょう。

多くの自然体験や生活体験の機会を作り、子どもとともに楽しみましょう。

読み聞かせをして、子どもと一緒に読書のルールを守りましょう。

メディアとの接し方を教えて、家庭のルールを守りましょう。

積極的にお手伝いをさせ、たくさん褒めてあげましょう。

不安なことは早めに先生方に相談しましょう。

土台となる家庭教育

架け橋期（5歳児から1年生の2年間 ～0歳から18歳までの発達連続性を見通して～）

今までの接続期のカリキュラムをベースに

アプローチャカリキュラム

スタートカリキュラム